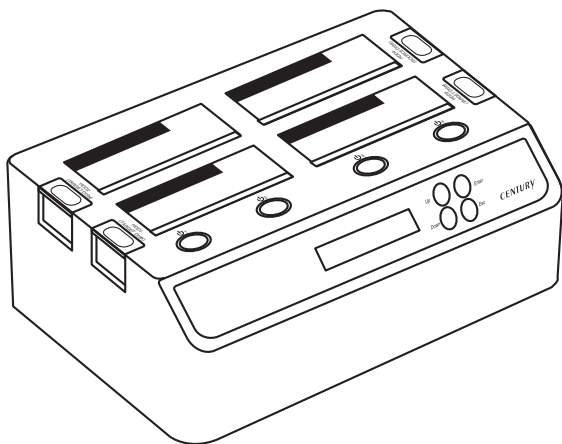
裸族のHDDクローンスタンド Ver.2

CROS4EU3CP
取扱説明書

【はじめに】

このたびはCROS4EU3CPをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前に本取扱説明書を必ずお読みください。

【安全上のご注意】＜必ず守っていただくようお願いいたします＞

・ご使用の前に、安全上の注意をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
・この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解のうえ、守っていただくようお願いいたします。
■次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。

⚠警告	**この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。**
⚠注意	**この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害ないし物的障害を負う可能性を想定した内容を示します。**

⚠警告

■煙が出る、異臭がする、異音がでる
煙が出る、異臭がする、異音がでるときはすぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の分解、改造をしない
機器の分解、改造をすることは火災や感電の原因となります。
点検および修理は、お買い上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の内部に異物や水を入れない
筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■湿度の高い場所、水気のある場所では使用しない
台所や風呂場など、湿度の高い場所、水気のある場所では使用しないでください。感電や機器の故障、火災の原因となります。

■不安定な場所に機器を置かない
ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。
そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。

■電源の指定許容範囲を守る
機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。

■電源コード、接続コードの取扱いについて
電源コード、接続コードの上に機器本体や重い物を置いたり、釘等で固定すると傷ついて芯線の露出や断線等による火災や感電の原因になったり、機器の故障につながりますので必ず避けてください。また、足を引っかけるおそれのある位置等には設置しないでください。

■雷が鳴り出したら電源コードに触れない
感電したり火災の原因となります。

■ぬれた手で機器に触れない
ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。

⚠注意

■設置場所に関しての注意事項
以下のような場所に置くと火災や感電、または故障の原因となります。
・台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙がつきやすいところ
・浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ
・常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
・火花があたるところや、高温度の熱源、炎が近いところ
・有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
・金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
・機械加工工場など切削油または研削油が立ち込めるところ
・食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
・直射日光のあたるところ

■長期間使用しない場合は接続コードを外してください
長期間使用しない場合は接続コードを外して保管してください。

■機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください
移動する際は必ず接続コードを外して行ってください。接続したままの移動はコードの断線等の原因となります。

■小さいお子様を近づけない
お子様が機器に乗ったりしないよう、ご注意ください。けが等の原因になることがあります。

■静電気にご注意ください
本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

■ もくじ

【制限事項】

・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
・本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
・本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
・本製品はシリアルATA HDD/SSD組み込み用途用です。CD-ROM等の動作はサポート外とさせていただきます。

【ご使用の前に】

・本書の内容等に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
・本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いします。
・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
・「Mac」は Apple Inc. の登録商標です。
・「Windows」は Microsoft Corporation の登録商標です。
・記載の各商品、および製品、社名は各社の商標ならびに登録商標です。
・イラストと実際の商品とは異なる場合があります。
・改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

本製品はHDD/SSD等のSATA機器をむき出しのままPCに接続するための製品です。
本来、ケースなどに内蔵して使用するSATA機器を露出したまま通電させることになりますので、感電等の事故、およびSATA機器へのほこりや水分等の付着には十分ご注意ください。
また、静電気も機器を破壊する原因となりますので、SATA機器の取り扱い時には静電気防止バンド等を用いて、故障の防止に努めてください。

【製品仕様】

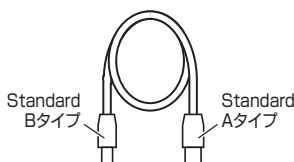
■型　　　　番：CROS4EU3CP
■商　 品　 名：裸族のHDDクローンスタンドVer.2
■インターフェイス：HDD側…SATAⅡ／3.0Gbps
　ホスト側…【USB】USB 3.0　【eSATA】SATA Ⅱ 3.0Gbps
■USBコネクタ形状：Standard Bタイプ
■冷却ファン仕様：6cm角×2　最大3,000rpm±10% ノイズレベル23.8dB
　※冷却ファン単体での計測値
■寸　　　　法：幅283 × 高さ87 × 奥行173mm（突起部）
■重　　　　量：約1,070g（ドライブ含まず）
■温 度 ・ 湿 度：温度5～35度・湿度20～80%
　（結露しないこと、接続するPCの動作範囲内であること）
■ACアダプター仕様：［AC入力］100-240V 2.5A MAX　［DC出力］12V 6.5A

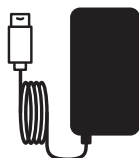
※本製品にHDD/SSDは含まれておりません。

【製品内容】

・CROS4EU3CP 本体
・専用USB3.0ケーブル ×1
・専用eSATAケーブル ×1
・専用ACアダプター ×1
・専用ACケーブル ×1
・取扱説明書／保証書（本書）

CROS4EU3CP 本体

Standard Bタイプ
Standard Aタイプ

専用USB3.0ケーブル

専用eSATAケーブル

専用ACアダプター

専用ACケーブル

取扱説明書／保証書

【各部の名称】

〈上面〉

※HDD電源スイッチ…電源ON：スイッチ周囲が青色に点灯
HDDアクセス時：赤⇔青点滅

〈前面〉

〈底面〉

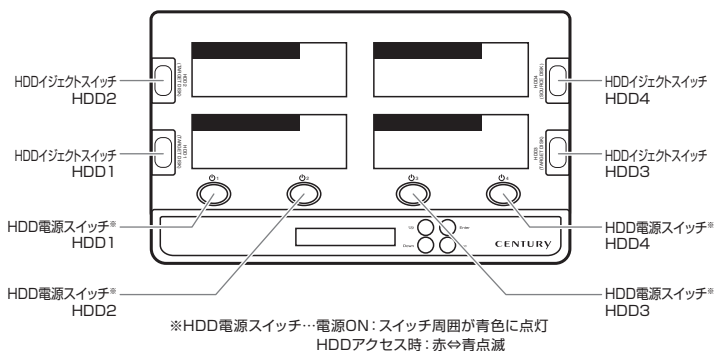
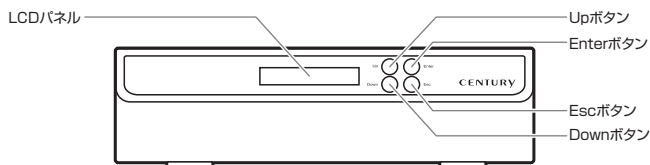
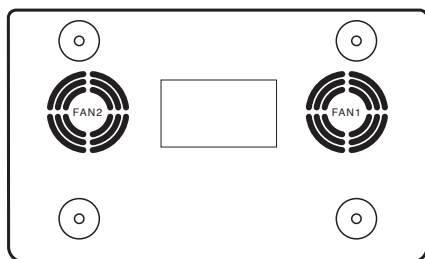
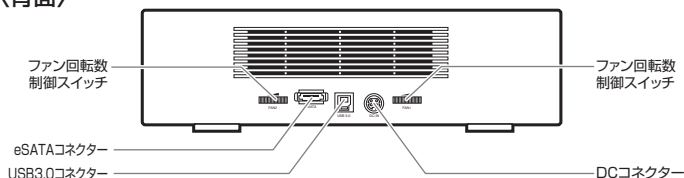
〈背面〉

ファン回転数
制御スイッチ

ファン回転数
制御スイッチ

eSATAコネクター

USB3.0コネクター

DCコネクター

【対応HDD/SSD】

■HDD

・シリアルATA（SATA Ⅰ/Ⅱ/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps）仕様の2.5インチ/3.5インチHDD

※本製品はSATA 6GbpsのHDDが接続可能ですが、インターフェイス側がUSB3.0/eSATAのため、転送速度はUSB3.0/eSATAの上限速度となります。
※4TBまでのHDDで動作確認を行っております。（2013年4月現在）
対応HDDの最新情報はサポートセンターにお問い合わせください。
また、Windows XPはOSの制限により、2TB以上のHDDは使用できません。あらかじめご了承ください。
※SAS（Serial Atached SCSI）HDDは使用できません。
※3.3V駆動の2.5インチHDDは動作しません。

■SSD

・MLCタイプの5V駆動2.5インチSATA SSD（SATA Ⅰ/Ⅱ/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps）

※本製品はSATA 6GbpsのSSDが接続可能ですが、インターフェイス側がUSB3.0/eSATAのため、転送速度はUSB3.0/eSATAの上限速度となります。
※1.8インチSSDや、ZIFソケット、MicroSATA、MiniSATAおよび特殊形状のSSD（Asus EeePC内蔵のSSD等）は接続できません。
また、SLCタイプのSSDにつきましては動作保証外とさせていただきます。

【対応機種】（2013年4月現在）

＜Windows＞

■eSATA接続

・ポートマルチプライヤー対応eSATAインターフェイスを搭載したPC/AT互換機

■USB接続

・USB3.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機（USB3.0モード動作時）
・USB2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機（USB2.0モード動作時）
・CPUクロック2GHz／メインメモリ1GB以上推奨

※intelチップセット搭載モデル推奨

●動作確認済みUSB3.0ホストコントローラ

・intel Z77チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ
・ETron EJ168 USB3.0ホストコントローラ
・Frescologic FL1100 USB3.0 ホストコントローラ
・ASMedia ASM1042 USB3.0ホストコントローラ
・RENESAS(NEC) μPD720200/202 USB3.0ホストコントローラ
・VLI VL800 USB3.0ホストコントローラ

※ USB3.0で接続する場合は、USB3.0ホストインターフェイスが必要になります。
従来のUSB2.0ホストにも接続できますが、その場合の転送速度の上限はUSB2.0（480Mbps）になります。
※ 各ホストコントローラのドライバは最新のものをご使用ください。

＜Mac＞

■eSATA接続

・ポートマルチプライヤー対応eSATAインターフェイスを搭載したMac

■USB接続

・USB3.0インターフェイスポートを標準搭載したMac（USB3.0モード動作時）
・USB2.0インターフェイスポートを標準搭載したMac（USB2.0モード動作時）

※Power PC搭載のMacは動作保証外になります。
※USB3.0での動作は、USB3.0インターフェイスが標準搭載されているモデルのみで動作を保証します。
USB3.0インターフェイスカード経由での動作は保証対象外となります。

【対応OS】（2013年4月現在）

■Windows

・Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista / Windows XP（32bit）

※上記以外のOSでは動作しません。
※Windows UpdateでOSを最新の状態（Service Pack含む）にしてご使用ください。
　最新ではない環境での動作はサポート外となります。
※Starter Edition、Embedded Edition、RT Editionはサポート対象外となります。

■Mac

・Mac OS 10.5.8 /10.6.8 /10.7.5 /10.8.3

※Power PC搭載のMacは動作保証外になります。

※製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

SATA HDD/SSDの取り扱いについて

HDD/SSDの保護のために、未使用時は本製品からHDD/SSDを取り外して保管してください。
SATA HDD/SSDの接続コネクタにはメーカーの推奨するHDD/SSDの着脱保証回数が設定されております。この回数を超えるとHDD/SSDとしての品質を保証できませんので、着脱する回数は必要最小限にてご使用ください。
また、本製品の構造上、HDD/SSDにすり傷が付く場合があります。あらかじめご了承ください。

eSATA接続時のご注意

eSATA接続にてPCと接続する際、IDE−SATA変換アダプタを使用したHDD/SSDや、転送規格の異なったHDD/SSDを複数接続すると、認識するタイミングの関係でHDD/SSDが正しく認識されない場合があります。
なるべく転送規格をそろえた上でご使用ください。

本製品からのOS起動に関して

本製品はeSATA接続に限りOS起動が可能です。起動方法に関してはeSATAホストカードの取扱説明書をご確認ください。USB接続でのOS起動はできません。

裸族坊やセンちゃんからのお願い

裸族シリーズは、内蔵用HDDや内蔵用SSDをケースに入れず、むき出し＝「裸」のまま手軽に使用することを想定して作られています。
しかし、内蔵用HDDや内蔵用SSDは本来とてもデリケートな精密機器です。
特に静電気やほこりに弱いので、必ず静電気の除去作業を行ってからHDD/SSDを取り扱うようお願いいたします。
また、HDD/SSDを保管する時は高温多湿を避け、静電防止袋等をご使用の上、大切に保管していただくようお願いいたします。

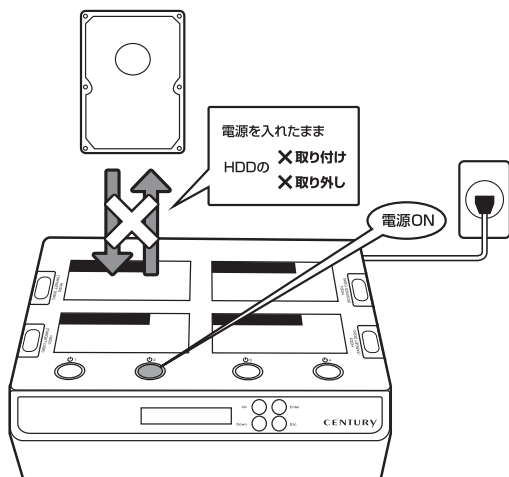
【HDD/SSDの取り付け方法】

■HDD/SSD接続の前に

・HDD/SSDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
・HDD/SSD接続の際には、静電気に十分ご注意ください。
人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。
・本製品の構造上、HDD/SSDにすり傷が付く場合があります。あらかじめご了承ください。

⚠警告

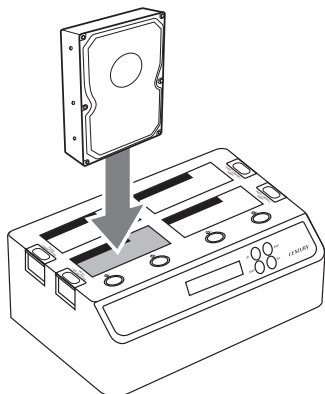
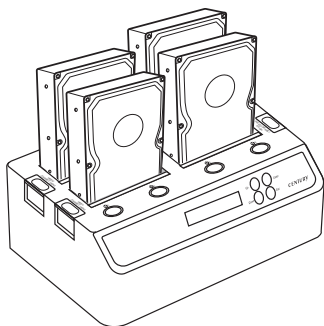
■接続及び電源投入の順序にご注意ください！！

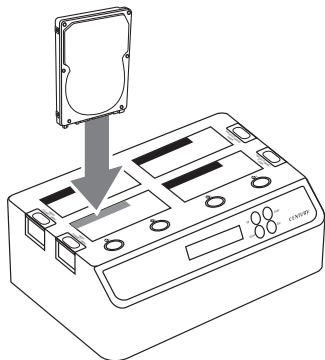
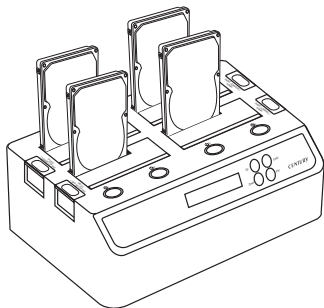
・本製品はそれぞれのHDDの電源スイッチが独立しており、いずれかのHDDの電源を入れることにより動作します。
・本製品のみの動作、またはHDD/SSDの電源投入中の抜き差し（ホットスワップ）には対応しておりません。
上記のような接続および電源投入を行うと、データの破損や本製品または接続したHDD/SSDの故障をまねく可能性がございます。

SATA HDD/SSDの取り扱いについて

HDD/SSDの保護のために、未使用時は本製品からHDD/SSDを取り外して保管してください。
SATA HDD/SSDの接続コネクタには、メーカーの推奨するHDD/SSDの着脱保証回数が設定されております。
この回数を超えるとHDD/SSDとしての品質を保証できませんので、着脱する回数は必要最小限にてご使用ください。
また、本製品の構造上、HDD/SSDにすり傷が付く場合があります。あらかじめご了承ください。

※本製品はSATA HDD/SSD専用です。PATA（IDE）HDD/SSDの取り付けはできません。

■3.5” HDDの取り付け方法

HDDのコネクタ部分を下側にし、垂直に立てた状態で本製品にゆっくり差し込みます。

■2.5” HDD/SSDの取り付け方法

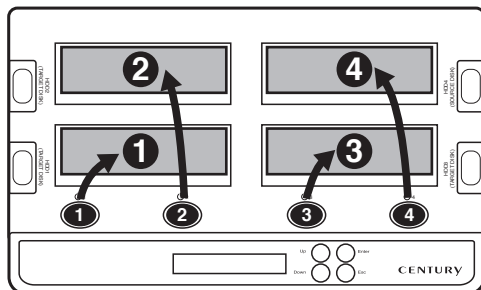
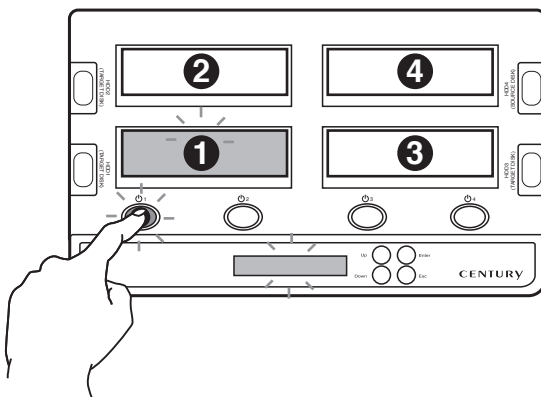
1：HDD/SSDのコネクタ部分を下側にし、垂直に立てた状態で本製品の2.5” HDD/SSD用切り欠き部分にゆっくりと差し込みます。

■注意！

HDD/SSDを装着する際には、HDD/SSDの向きとSATAコネクタの位置に注意してゆっくり差し込んでください。
ちからまかせに押し込むと、破損や故障の原因となります。
また、HDD/SSDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

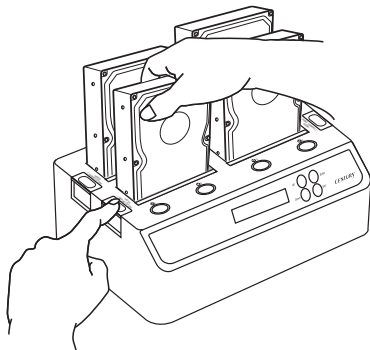
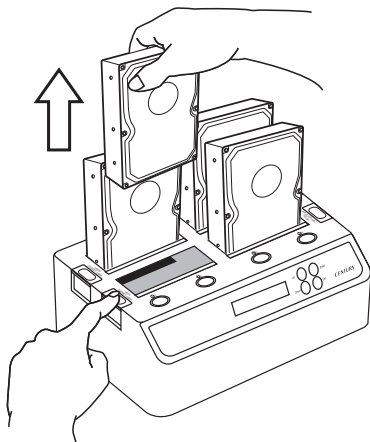
！Point：2.5インチHDD/SSDと3.5インチHDDを混在して接続することも可能です。

【電源の投入方法】

電源スイッチはいちど押すと電源がONになり、電源ONの状態でもういちど押すと電源がOFFになります。

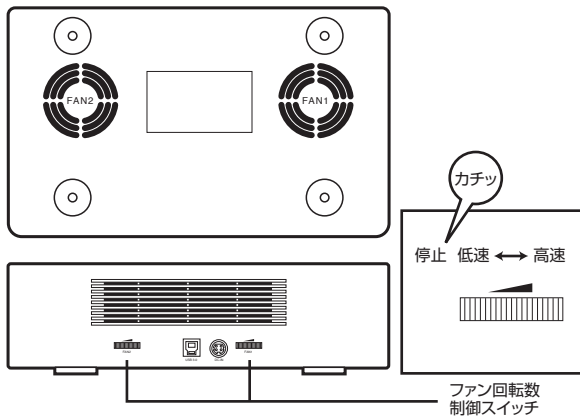
＜電源スイッチの場所＞

いずれかの電源がONになると本製品の電源が入ります。

【HDD/SSDの取り外し方法】

※本製品はSATA HDD/SSDのホットスワップには対応しておりません。
HDD/SSDを取り外す際は、必ず電源をOFFにしてから行うようにしてください。

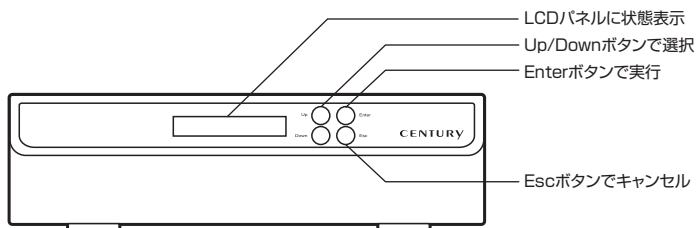
1：HDDに手を添えながら、HDD取り出し補助ボタンをゆっくり押します。

2：ボタンを押すとHDDがせり出してきますので、ゆっくりと垂直にHDDを取り外します。

■注意！

HDD/SSDを装着する際には、HDD/SSDの向きとSATAコネクタの位置に注意してゆっくり差し込んでください。
ちからまかせに押し込むと、破損や故障の原因となります。
また、HDD/SSDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

【ファン回転制御スイッチについて】

それぞれのファンが独立しています。背面の回転制御スイッチを回すことで、速度を手動で変更できます。

※「カチッ」という音がするまで低速側に回すと、ファンが停止します。

【操作方法】

・Up/Downボタンで選択
・Enterボタンで実行
・Escボタンでキャンセル

■メニュー構成

== Main Menu ==

LCD表示	説明
CROS4EU3CP PC MODE	PC MODE（P.15）
== Main Menu == Duplicator Mode	Enterボタンでデュプリケータモード（P.17）に移行します。

== Dup. Menu ==
Duplicator Mode（P.17）

LCD表示	説明
== Dup. Menu == 1.Copy HDD	1．Copy HDD HDD/SSDをコピーします（P.18）
== Dup. Menu == 2.Compare HDD	2．Compare HDD HDD/SSDを比較します（P.21）
== Dup. Menu == 3.Rescan BUS	3．Rescan BUS 接続したＨＤＤ/ＳＳＤをリセットして認識しなおします（P.24）
== Dup. Menu == 4.Source Size	4．Source Size コピー元（HDD４）の容量を確認します（P.24）

```
== Dup. Menu ==
5.Setup
```

5．Setup
各種設定を行います（P.25）

```
5.Setup:
5-1.Auto Compare
```

5－1．Auto Compare

```
5.Setup:
5-2.Button Sound
```

5－2．Button Sound

```
5.Setup:
5-3.Device Info.
```

5－3．Device Info

```
== Dup. Menu ==
6.PC Mode
```

6．PC Mode
PCモードに移行します（P.15）

```
== Dup. Menu ==
7.Advanced Setup
```

7．Advanced Setup
拡張設定を行います（P.27）

```
7.Advanced Setup
7-1.ReadErr Skip
```

7－1．ReadErr Skip

```
7.Advanced Setup
7-2.Quick Erase
```

7－2．Quick Erase

```
7.Advanced Setup
7-3.Secure Erase
```

7－3．Secure Erase

```
7.Advanced Setup
7-4.System Info.
```

7－4．System Info.

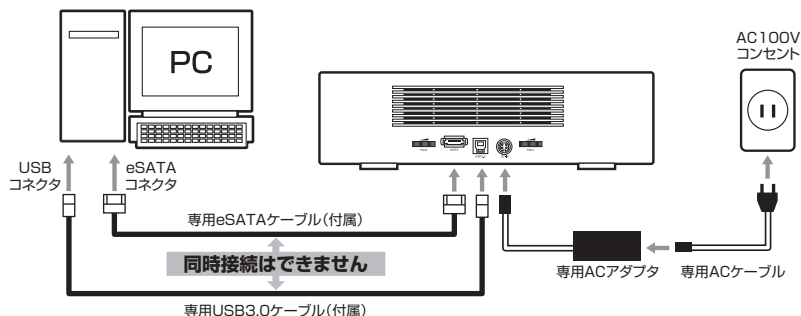
【PC Mode（PCモード）】

・PCと接続して外付けHDD/SSDとして利用します。
　最初に電源をONにした状態では常に［PC Mode（PCモード）］で起動します。

```
CROS4EU3CP
 PC MODE
```

・PCと接続せずに単体でコピー機能を使用する際は、P.17【Duplicator Mode（デュプリケーターモード）】をご参照ください。

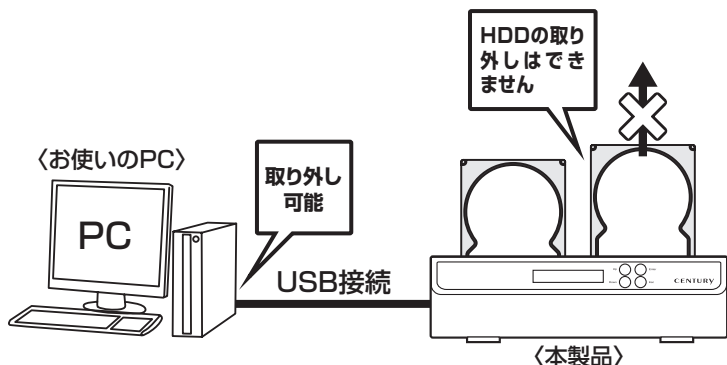
・HDD/SSDの領域確保やフォーマットについては巻末付録【領域の確保とフォーマット】をご参照ください。

■PCとの接続方法

eSATA接続時のご注意

eSATA接続にてPCと接続する際、IDE−SATA変換アダプタを使用したHDD/SSDや、転送規格の異なったHDD/SSDを複数接続すると、認識するタイミングの関係でHDD/SSDが正しく認識されない場合があります。なるべく転送規格をそろえた上でご使用ください。

【ハードウェアの取り外しについて】

本製品はUSB接続時、PC起動中にハードウェアの取り外しが可能です。
※eSATA接続時のハードウェアの取り外しは、PCの電源を切った状態で行ってください。

※この項で説明する「ハードウェアの取り外し」とは、本製品とPCの接続を解除するという意味です。
本製品はホットスワップには対応しておりませんので、HDDの取り付け、取り外しをする際は必ず本製品の電源を切った状態で行うようにしてください。

1. 本製品を接続すると、タスクトレイに「ハードウェアの取り外し」アイコンが表示されます。
   取り外す際は「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックします。
   デバイス名は以下のように表示されます。
   - **Windows XP……… USB大容量記憶装置デバイス**
   - **Windows Vista … USB大容量記憶装置**
   - **Windows 8/7 …… USB to ATA / ATAPI Bridge**

2. 取り外し完了のメッセージが表示されれば完了です。
   電源を切ってケーブルを取り外してください。

※取り外しの詳しい手順はOSにより異なりますので、お使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照のうえ、作業を行ってください。
「ハードウェアの取り外し」の手順を経ずに本製品を取り外すと、HDDのデータが破損したり、消失するおそれがありますので、必ず「ハードウェアの取り外し」の処理を行ってください。

【Duplicator Mode（デュプリケーターモード）】

1台のHDD/SSDを3台までのHDD/SSDに同時コピーを行うモードです。
※このモードを利用する際はPCと接続しないでください。

注意：HDD/SSDコピーに必要な条件

・必ずHDD４がコピー元HDD/SSDとなります。HDD１～３に接続してあるHDD/SSDはすべてコピー先として認識され、データの書き込みが行われます。
・HDD１～３（コピー先）はHDD４（コピー元）と同じかより大きい容量である必要があります。
どれかひとつでもコピー元よりも小さいHDD/SSDが接続されていると、コピーが行えません。
・データのコピー処理はリアルタイムに検証されません。
確実にコピーが行われたかどうかを確認するには、［２．Compare HDD］モードで比較を行うか、［５－１．Auto Compare］を有効にして、コピー後にCompareを行うようにしてください。
・HDD/SSDコピーまたはCompare処理中は、ほかのHDD/SSDの電源を入れたりしないでください。

■操作方法

電源を入れると必ずPCモードで起動します。

```
   CROS4EU3CP
    PC MODE
```

Enterキーを押すとメニューが表示されます。

```
== Main Menu ==
Duplicator Mode
```

さらにEnterキーを押すと、変更するかどうかの問い合わせが表示されます。

```
You Are Going To
 Duplicator MODE
```

最終確認の画面が表示されます。

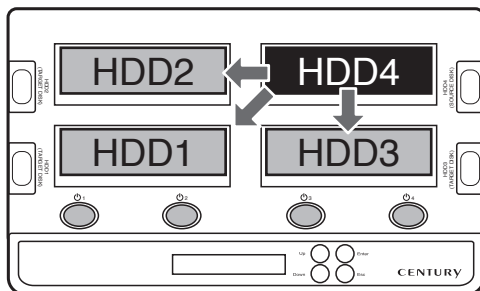
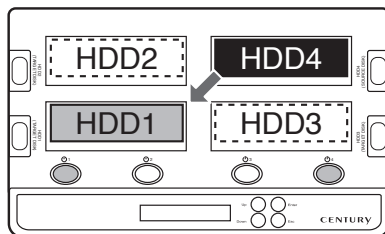
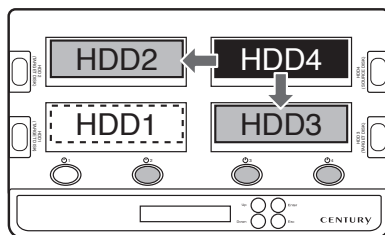
```
Are You Sure?
Enter:Yes Esc:No
```

ブザー音が鳴り、デュプリケーターモードに切り替わります。

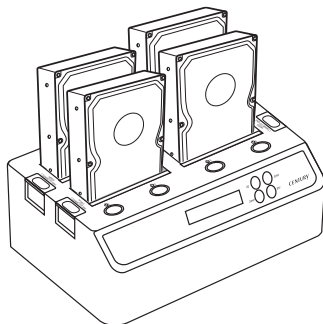
```
   CROS4U3CP
 HDD Duplicator
```

■HDDコピー（1．Copy HDD）

```
== Dup. Menu ==
1.Copy HDD
```

HDD４に接続されているHDD/SSDの内容を、HDD１～３に接続されているHDD/SSDにコピーします。

HDD４からHDD２、３の１対２コピーや、HDD４からHDD１への１対１コピーも可能です。

【Duplicator Mode（デュプリケーターモード）】

・操作方法

コピー元のHDD/SSDをDISK４に、コピー先のHDD/SSDをDISK１～３にセットします。

順番に電源を入れます。

操作してデュプリケータモードに移行してます。

※すでにデュプリケータモードの場合は、［3．Rescan BUS］（P.24）を実行して、HDD/SSDの認識を更新します。

Up/Downボタンを操作して［1．Copy HDD］を選択し、Enterキーを押すとコピー元がDISK４である確認が表示されます。

```
Start To Copy,
Source Is Disk4.
```

Enterボタンを押します

最終確認の画面が表示されます。

```
Are You Sure?
Enter:Yes Esc:No
```

コピー開始であればEnterボタン、中止であればEscボタンを押します。

※**注意！** ここでEnterボタンが押されるとコピーが開始され、DISK1～3のデータ改変が始まります。

```
Operation Done,
 Return To Menu.
```

処理が開始されます。何かボタンを押すとメニューに戻ります。

メニューの状態でそのままボタンを何も押さずに置くと、進捗状況が表示されます。

転送速度　進捗状況(%)

```
Copy- 38MB/s  1%
 36.9GB 00:00:10
```

残りコピー容量　経過時間

表示の更新は１%処理が進むごとに行われます。
※大きな容量をコピー元に設定すると、それだけ更新間隔が長くなります。

・コピーの一時停止と停止

進捗状況の画面で何かボタンを押すと、メニューが表示されます。
HDD Copyと同じ操作を行うと、PAUSE（一時停止）するかどうかの問い合わせが表示されますので、同じ手順を行うと一時停止します。

```
Copying HDDs,
  To Pause It?
```

一時停止中は、進捗に「PAUSE」と表示されます。

```
PAUSE 46MB/s 14%
 32.0GB 00:01:56
```

再開するにはまた同じ手順を繰り返します。

コピーの完全停止を行うには、一時停止をしたあとに、［3．Rescan BUS］（P.24）を行ってください。

・エラー発生時

コピー中にエラーが発生すると、警告音が鳴って処理を停止します。

```
Error: Copying
LBA:xxxxxxxxxxxx
```

［7－1．ReadError Skip］（P.27）を有効にして再度実行するか、HDD/SSD を違うものに交換してください。

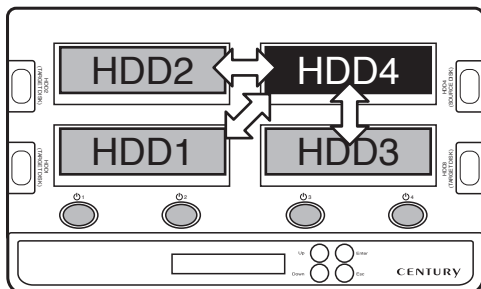
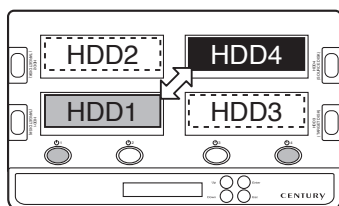
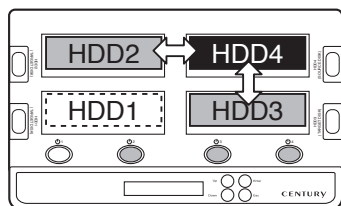
・Point

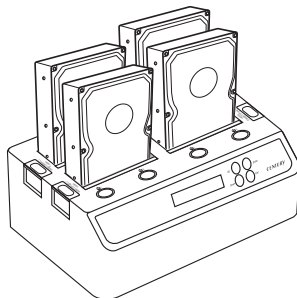
［5. Setup］で［5－1．Auto Compare］を有効（Enable）にしてあると、コピー終了後にそのままコンペアを行います。

【Duplicator Mode（デュプリケーターモード）】

■HDDコンペア（2．Compare HDD）

```
== Dup. Menu ==
2.Compare HDD
```

HDD４に接続されているHDD/SSDの内容とHDD１～３に接続されているHDD/SSDを比較します。

HDD４からHDD２、３の１対２コンペアやHDD４からHDD１への１対１コンペアも可能です。

・操作方法

コンペア元のHDD/SSDをDISK４に、コンペアするHDD/SSDをDISK１～３にセットします。

順番に電源を入れます。

操作してデュプリケータモードに移行してます。
※すでにデュプリケータモードの場合は、［3．Rescan BUS］（P.24）を実行して、HDD/SSDの認識を更新します。

Up/Downボタンを操作して［2．Compare HDD］を選択し、Enterキーを押すとコンペア元がDISK４である確認が表示されます。

```
Start To Compare
Source Is Disk4.
```

Enterボタンを押します。

最終確認の画面が表示されます。

```
Are You Sure?
Enter:Yes Esc:No
```

コピー開始であればEnterボタン、中止であればEscボタンを押します。

```
Operation Done,
 Return To Menu.
```

処理が開始されます。何かボタンを押すとメニューに戻ります。
メニューの状態でそのままボタンを何も押さずに置くと、進捗状況が表示されます。

転送速度　進捗状況(%)

```
Comp- 46MB/s  7%
 34.6GB 00:00:58
```

残りコンペア容量　経過時間

表示の更新は１％処理が進むごとに行われます。
※大きな容量をコピー元に設定すると、それだけ更新間隔が長くなります。

【Duplicator Mode（デュプリケーターモード）】

・コンペアの一時停止と停止

進捗状況の画面で何かボタンを押すと、メニューが表示されます。
［2．Compare HDD］と同じ操作を行うと、PAUSE（一時停止）するかどうかの問い合わせが表示されますので、同じ手順を行うと一時停止します。

```
Comparing HDDs,
  To Pause It?
```

一時停止中は進捗に「PAUSE」と表示されます。

```
PAUSE 46MB/s 14%
 32.0GB 00:01:56
```

再開するにはまた同じ手順を繰り返します。

コンペアの完全停止を行うには、一時停止をしたあとに、［3．Rescan BUS］（P.24）を行ってください。

・エラー発生時

コンペア中にエラーが発生すると、警告音が鳴って処理を停止します。

```
Error: Comparing
LBA:xxxxxxxxxxxx
```

コンペアエラーが発生しています。

■バススキャン（3．Rescan BUS）

```
== Dup. Menu ==
3.Rescan BUS
```

接続されたHDD/SSDをスキャンして認識しなおします。
後から電源を入れたHDD/SSDを認識させる場合や、PAUSE中のコピー/コンペア処理を完全に停止するのに利用します。

・操作方法

Enterを押すとスキャンモードに入ります。もう一度Enterを押します

```
You Are Going To
 Rescan HDDs,
```

最終確認の画面が表示されます。

```
Are You Sure?
Enter:Yes Esc:No
```

開始であればEnterボタン、中止であればEscボタンを押します。

■ソースサイズ（4．Source Size）

```
== Dup. Menu ==
4.Source Size
```

コピー元（ソース）のHDD/SSDの容量を表示します。

```
Source Capacity:
       37.2GB
```

何かキーを押すとメニューに戻ります。

【Duplicator Mode（デュプリケーターモード）】

■設定（5.Setup）

```
== Dup. Menu ==
5.Setup
```

各種設定を行います。

・オートコンペア（5－1．Auto Compare）

```
5.Setup:
5-1.Auto Compare
```

コピー後に正しくコピーが行われたかどうか確認するためのコンペアを自動的に行うかを選択します（出荷時：無効（Disable））

・操作方法

上下ボタンで有効（Enable）か無効（Disable）を選択し、Enterボタンを押すと設定されます。設定中の項目には＊マークがつきます。

```
Auto Compare:
    *Disable
```

・ボタン操作音（5－2．Button Sound）

```
5.Setup:
5-2.Button Sound
```

ボタンを押したときの操作音のオンオフを設定します（出荷時：オフ（OFF））

・操作方法

上下ボタンでオン（ON）かオフ（OFF）を選択し、Enterボタンを押すと設定されます。
設定中の項目には＊マークがつきます。

```
Button Sound:
      *OFF
```

・デバイス情報（５－３．Device Info）

```
5.Setup:
5-3.Device Info.
```

接続されているHDD/SSDの情報を閲覧します。

・操作方法

Enterボタンで選択すると現在接続されているHDD/SSDの選択画面が表示されます。
閲覧したいディスクを選択してEnterボタンを押すと、閲覧モードになります。

```
Select Disk:
     Disk 2
```

閲覧できる情報は、モデル名/シリアル/ファームウェアRev/容量の４種類です。
Escボタンを押すとメニューに戻ります。

```
Model: XXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXX
```

```
Serial No.:
    XXXXXXXXXXXX
```

```
Firmware Ver.:
        XXXXXXXX
```

```
Total Capacity:
     XXXXGB
```

【Duplicator Mode（デュプリケーターモード）】

■PCモード（6．PC Mode）

```
== Dup. Menu ==
6.PC Mode
```

PCモードに戻ります。

■拡張設定（7．Advanced Setup）

```
== Dup. Menu ==
7.Advanced Setup
```

・リードエラースキップ（7－1．ReadErr Skip）

```
7.Advanced Setup
7-1.ReadErr Skip
```

コピー時にリードエラーが発生した場合、自動的にスキップするかどうかを設定します
（出荷時：無効（Disable））

・操作方法

上下ボタンで有効（Enable）か無効（Disable）を選択し、Enterボタンを押すと設定されます。
設定中の項目には＊マークがつきます。

```
Read Error Skip:
   *Disable
```

・クイックイレース（7－2．Quick Erase）

```
7.Advanced Setup
7-2.Quick Erase
```

HDD/SSDのデータの簡易消去を行います。
先頭のセクタに0を書き込むことで管理領域を無効にします。
先頭のセクタのみを消去するため、OS等によっては完全に消去できない場合があります。

・操作方法

Enterボタンで選択すると現在接続されているHDD/SSDの選択画面が表示されます。
消去したいディスクを選択してEnterボタンを押すと、最終確認の画面が表示されます。

```
Are You Sure?
Enter:Yes Esc:No
```

消去するのでEnterボタン、中止であればEscボタンを押します。

・セキュアイレース（7－3．Secure Erase）

```
7.Advanced Setup
7-3.Secure Erase
```

※この機能を利用するためには、HDD/SSDが "Secure Erase Unit" コマンドに対応している必要があります。

・操作方法

Enterボタンで選択すると現在接続されているHDD/SSDの選択画面が表示されます。
消去したいディスクを選択してEnterボタンを押すと、最終確認の画面が表示されます。

```
Are You Sure?
Enter:Yes Esc:No
```

消去するのでEnterボタン、中止であればEscボタンを押します。
セキュアイレースには消去の進捗状況が表示されません。消去中とだけ表示されます。

```
Run the Secure
 Erasing...
```

＊参考：500GBのHDDで３時間弱かかります。
　　　　HDDのスペックやメーカーによって時間は前後します。

・システムインフォ（7－4．System Info.）

システム情報（ファームウェアバージョン）が表示されます。

```
7.Advanced Setup
7-4.System Info.
```

【エラーメッセージ】

■コピー、コンペア全般	
Error: No Source Device(Disk4)!	Disk4(Source)にHDDが接続されていません。 コピー元または比較元となるHDDをDisk4に接続して電源を入れ、 Rescanを行ってください。
Error: No Target Device!	Disk1～3にHDDが接続されていません。 コピー先または比較先となるHDDをDisk1～3に接続して電源を入れ、 Rescanを行ってください
Error: Target is too Small!	Disk1～3にDisk4よりも小さいHDD容量のHDDが接続されています。 取り外すか電源を切り、Rescanを行ってください。
Error: Device x Time Out!	Device xがHDDの初期化時間内応答がありません。 故障している可能性がありますので、取り外してRescanを行ってください。
HDDs Errors, Cannot Copy!	HDDに何らかの条件でエラーが発生しているか、他の処理でHDDを使用中です。
HDDs Errors, Cannot Compare!	HDDに何らかの条件でエラーが発生しているか、他の処理でHDDを使用中です。
Copying HDDs, Cannot Rescan!	コピー中なのでリスキャンできません。 リスキャンを行うには、一旦コピー動作を一時停止してからリスキャンしてください。 その場合、行っていたコピーは中断されます。
Comparing HDDs, Cannot Rescan!	コンペア中なのでリスキャンできません。 リスキャンを行うには、一旦コンペア動作を一時停止してからリスキャンしてください。 その場合、行っていたコンペアは中断されます。
No Source HDD, Cannot Display!	Disk4(Source)にHDDが接続されていないため表示できません。
Error: Copying LBA:xxxxxxxxxxx	コピー中にエラーが発生しました。 Read Error Skip(P.25)を有効にして再度実行するか、 HDDを違うものに交換してください。
Error: Comparing LBA:xxxxxxxxxxx	コンペア中にエラーが発生しました。 比較元(Source)と比較先のデータが異なります。

■PC Mode	
Copying HDDs, Cannot Change!	コピー処理中のためPCモードに変更できません。 コピーを中断するか、終了するまで待ってから処理を行ってください。
Comparing HDDs, Cannot Change!	コンペア処理中のためPCモードに変更できません。 コンペアを中断するか、終了するまで待ってから処理を行ってください。

■Quick Erase	
No Disk Exists, Cannot Erase!	HDDがないため消去できません。 HDDを接続してください。
Copying HDDs, Cannot Erase!	コピー中のため消去できません。 コピーを中断するか、終了するまで待ってから処理を行ってください。
Comparing HDDs, Cannot Erase!	コンペア中のため消去できません。 コンペアを中断するか、終了するまで待ってから処理を行ってください。
Operation Fail, Return To Menu.	消去処理に失敗しました。 HDDに問題がある可能性があります。 PCに接続して、ディスクチェックツール等でHDDが正常かを確認してください。

■Secure Erase	
No Disk Exists, Cannot Erase!	HDDがないため消去できません。 HDDを接続してください。
Copying HDDs, Cannot Erase!	コピー中のため消去できません。 コピーを中断するか、終了するまで待ってから処理を行ってください。
Comparing HDDs, Cannot Erase!	コンペア中のため消去できません。 コンペアを中断するか、終了するまで待ってから処理を行ってください。
Disk x Does Not Support SErase!	指定されたDisk（HDD） x番はセキュアイレースに対応していません。
Operation Fail, Return To Menu.	消去処理に失敗しました。 HDDに問題がある可能性があります。 PCに接続して、ディスクチェックツール等でHDDが正常かを確認してください。

【FAQ】～ PCモード時～

Q：使用できるHDDの最大容量は？
A：4TB（テラバイト）までとなります。

Q：カードリーダーのようにHDDを抜き差しして使うことは可能ですか？
A：残念ながらできません。本製品は電源を切った上で抜き差しをする必要があります。電源を入れた状態でHDDを抜き差しすると、正常に認識しないばかりか、本製品並びにHDDを故障させる可能性があります。

Q：他の機器で使用していたデータの入ったHDDを入れて、そのままデータにアクセスできますか？
A：基本的には使用可能ですが、以前ご使用いただいていた環境によってはご使用になれない場合があります。ご使用になれない場合は、フォーマットを行う必要があります。
不慮の事故によるデータの消失を避けるためにも、データが入ったHDDを接続する場合は、必ずバックアップをとってからの作業をお願いいたします。

Q：着脱可能回数は何回ですか？
A：本製品に装備されているコネクタの耐久性は約10,000回となっております。
HDD側にもそれぞれ同様の耐久性が設定されておりますので、くわしい着脱可能回数はHDDの製造メーカーにお問い合わせください。

Q：HDDにアクセスしていないのに、HDD電源スイッチが点滅します。故障ですか？
A：ウイルススキャンや各ソフトのアップデートチェック、インデックス作成等、OSのバックグラウンド処理で本製品のHDDにアクセスする場合があります。

Q：30分以上経ってもHDDのフォーマットが完了しません（Windows）。
A：HDDのフォーマット時、「クイックフォーマット」を選択せず通常のフォーマットを選択すると、フォーマットに時間がかかります。フォーマットを短時間で完了させたい場合は、「クイックフォーマット」を選択してください。
詳しくは、巻末付録【領域の確保とフォーマット】をご参照ください。

Q：S.M.A.R.T情報が表示されない
A：S.M.A.R.Tを参照するソフトによって対応が大きく異なり、表示できるものとできないものがあるようです。
弊社では表示に対応しているツールの提供はございません。

Q：Windows ServerやLinuxで動作しますか？

A：対応OSは次の通りです。

●Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista / Windows XP（32bit）

●Mac OS 10.5.8 /10.6.8 /10.7.5 /10.8.3

それ以外でのOSに関しては動作確認を行っておらず、サポート外、自己責任での範囲となります。ドライバの提供や操作方法等はご案内できかねます。

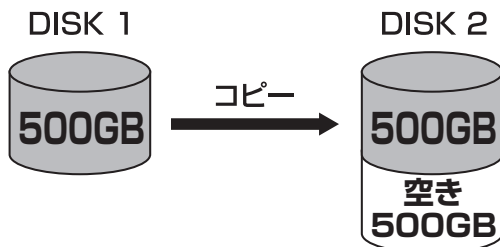
Q：OSの起動は可能ですか？

A：eSATA接続でかつ、ホストがeSATA起動可能である場合のみ使用できます。
ただし、すべての環境でのOS起動を保証するものではありません。
※USB接続でのOS起動はサポート対象外とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

【FAQ】～デュプリケーターモード時～

Q：使用できるHDDの最大容量は？
A：現状４TBまで動作確認しております。

Q：異なる容量のHDD同士でもコピー可能ですか？
A：コピー先がコピー元（Source Disk）よりも大きい場合のみ可能です。
小さい場合はコピーができません。

Q：異なる容量のHDDにコピーした場合、余った容量はどうなりますか？
A：コピーモードはHDDのパーティションをそのままコピーします。
500GBのHDDから1TBのHDDへコピーした場合、500GBはそのままコピーが行われ、
残り500GBが空き容量となります。

空き容量が利用可能かどうかはコピーしたOSによって異なります。
■**Windowsの場合**：ディスクの管理で利用可能です。
■**Macの場合**：残念ながら利用する方法がございません。

Q：異なる回転数、転送規格のHDDでもコピー可能ですか？
A：可能です。
ただしコピー時の速度は、接続された中で最も遅いHDDにあわせて遅くなりますのでご注意ください。

Q：Linux等のサポート外OSで使用しているHDDでもコピー可能ですか？
A：コピーモードではHDD内のファイルシステムやデータフォーマットを判別しておりません。
そのため、コピーモードでHDDのクローンを作ることは可能です。
まったく同じ容量、型番のHDDであれば変化が少ないため、そのまま起動できる可能性は高いですが、容量が異なるHDDにコピーしたHDDをOSがどのように扱うか未検証です。
お客様の責任において行っていただけますようお願いします。

Q：不良セクタのあるHDDをコピーに使用することは可能ですか？

A：本製品はHDD復旧ツールではありませんので、PC等で読めなくなっているHDDの領域を読むことはできません。
読めない部分をスキップすることで、読めるデータだけを正常なHDDにコピーすることは可能です。
ただし、何処のデータが読めなかった等は解りませんので、コピーされたHDDに入っているデータが使用に耐えうるものかは、わかりかねます。

Q：メーカーAの1TB HDDからメーカーBの1TB HDDへコピーしようとすると、ERRORが表示されるのですが？

A： 同じ1TB HDDでもメーカーによって細かい容量が異なります。
また、同じ型番のHDDでもロット差により細かい容量の差がある場合がありますのでご注意ください。

Q：SCSI、SAS HDDのコピーは可能ですか？

A：対応しておりません。

Q：PCにHDDを内蔵したままコピー可能ですか？

A：内蔵したままではコピーモードを使用することはできません。
コピーモードを使用する場合、必ずHDDをコンピュータから取り出して、直接本製品に接続しなければなりません。

Q：コピー元のHDDの使用済み容量が少ないのですが、これをコピー元よりも小さなHDDにコピーできますか？

A：コピーできません。使用済みあるなしに関わらず、本製品はHDDの全領域をコピーします。

Q：コピーにかかる時間はどのくらいですか？

A：約100MB/秒となりますが、コピー速度は使用するHDD/SSDによって大幅に異なりますので目安としてお考えください。

Q：コピーする前にコピー先HDDをフォーマットしておく必要はありますか？

A：必要ありません。
コピー元HDDのファイルシステム、フォーマットで上書きされますので、コピー先HDDの内容はどのようなフォーマットを行ってあっても消去されます。

Q：Advanced Setupの設定が電源オン・オフで元に戻ってしまいます。

A：仕様となります。
　電源をオン・オフした場合は再度設定を行なってください。

Q：コピー完了後、電源をオフにする時「Error!：Device4 changed」と表示されます。

A：電源オフ時、システム処理の関係で表示されますが、コピー自体に影響はありません。

【トラブルシューティング】

主なトラブルの対処方法を説明いたします。
「故障かな？」と思われましたら、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

■認識されない

→以下をお試しください。
- ・HDDが正常に差し込まれているか確認する。
- ・各接続ケーブル、ACアダプター等を確認する。
- ・HDD電源スイッチが点灯しているか確認する。
- ・USB3.0/eSATAホストが正常に動作しているか確認する。

■電源ランプが点灯してもHDDが回転している音がしない

→配線が正しく接続されているかご確認ください。また、付属のケーブル以外を接続されると、故障や事故の原因となりますので、必ず付属のケーブルをご使用ください。

■スリープ、スタンバイから復帰するとフリーズする、アクセスできない

→本製品はWindows、Macともに、スリープ、スタンバイに対応しておりません。
スリープ、スタンバイする前に取り外しを行ってください。

■新しいHDDをセットしたが、マイコンピュータ内（Windows）、デスクトップ（Mac）にHDDのアイコンが表示されない

→新しいHDDは接続後、領域の確保とフォーマットの作業が必要となります。
【領域の確保とフォーマット】または【Macでの使用方法】をご参照のうえ、初期化の作業を行ってください。
- ・Windowsでお使いの場合→P.41【領域の確保とフォーマット】をご確認ください。
- ・Macでお使いの場合→P.53【Macでの使用方法】をご確認ください。

■2TBを超えるHDDを初期化しようとすると2TBで分割されてしまう（Windows 8／Windows 7／Windows Vista）

→MBR形式の場合、１パーティションの上限が2TBまでとなります。
GPT形式にて初期化することで2TB以上のパーティションを作成することが可能です。

■USB3.0接続時にUSB2.0として認識してしまう

→本製品の電源をONにしたままUSBケーブルを接続すると、接続するタイミングによって
USB2.0機器として認識してしまう場合があります。
本製品の電源はOFFの状態で各ケーブルを接続し、主電源スイッチをONにしてください。

■USB3.0接続時、接続してしばらく経つと認識されなくなってしまう

→USB3.0インターフェイス側のドライババージョンが古いと発生する場合があります。
ご使用のUSB3.0インターフェイスのドライバで、新しいドライバがリリースされていないかご確認ください。

■eSATA接続時、Windowsが起動後に接続すると認識されない

→eSATAのホストアダプタの仕様やモード設定によっては、パソコンの起動時に本製品を接続しておかないと認識できない場合があります。お使いのeSATAホストアダプタの仕様をご確認ください。
また、マザーボードのeSATAポートを使用している場合、BIOS上でSATAの動作モードがIDE互換モードになっていると、Windows起動後の接続ができません。
この場合は〈AHCIモード〉に変更することで改善する可能性があります。
※システムの起動HDDと本製品が同じSATAホストに接続されている状態でモード変更を行うと、Windowsが起動しなくなる場合がありますのでご注意ください。

■eSATA接続だと認識するが、USB接続だとマイコンピュータにアイコンが表示されない（Windows）

→ダイナミックディスク形式でHDDを初期化していないかご確認ください。
USB接続の場合はスタンダード形式のみ使用可能です。

■WindowsでeSATA接続時、ハードウェアの取り外しに本製品のHDDが表示されない

→eSATA接続時のハードウェアの取り外しは、接続されたeSATA I/Fによって可能かどうかが異なります。
詳しくはお使いのeSATA I/Fの製造元にお問い合わせください。
また、eSATA HDDの動作中の取り外しは、設定によってはデータの破損等につながる場合がありますので、弊社ではおすすめしておりません。

■2TBのHDDを接続したのに、認識される容量が1.8TB程度になってしまう

→計算方法の違いはないか、ご確認ください。

ほとんどすべてのハードディスクドライブメーカーは、公称容量を

・1MB = 1,000,000バイト

で計算した値で示しています。

それに対し、一般的には、

・1KB = 1024 バイト

・1MB = 1024 × 1024 = 1,048,576 バイト

・1GB = 1024 × 1024 × 1024 = 1,073,741,824 バイト

・1TB = 1024 × 1024 × 1024 × 1024 = 1,099,511,627,776 バイト

です。

たとえば2TBと表示されているドライブの場合、これを一般的なTBに換算してみますと、

・2,000,000,000,000 ÷ 1,099,511,627,776 = 約 1.8TB

となり、200GB程度少なくなることがお分かりいただけると思います。

このような計算方法が（ハードディスクドライブメーカーでは）一般的となっておりますので、ご理解をお願いいたします。

【巻末付録】

領域の確保とフォーマット

新しいHDDをお使いの場合は
こちらをお読みください。

！ご注意ください！

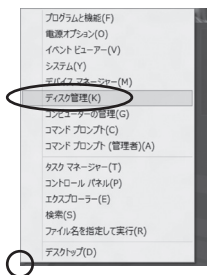
- 領域の確保とフォーマットを行うと、HDD/SSDを初期化してパソコンで認識される状態に構成されます。
- 以前、別のパソコン等でご使用になっていたHDD/SSDをご使用の場合、次ページからの作業を行うとHDD/SSD内のすべてのデータが消えてしまいますのでご注意ください。
- 通常、データが入っているHDD/SSDを接続した場合であれば次ページからの作業は行わずに認識、データにアクセスが可能となります。

【領域の確保とフォーマット】

注意：この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明しています。
細かく分割する操作に関しては、Windowsのヘルプや参考書を参考にしてください。

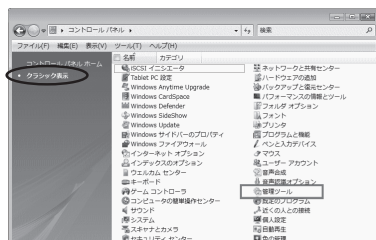
> ※この手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータを消去します。消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。

■Windows 8／Windows 7／Windows Vistaの場合

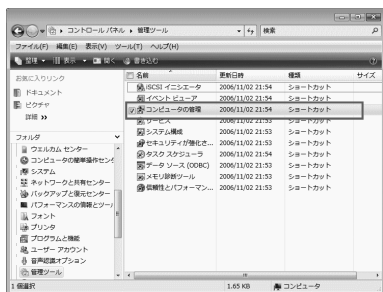
1.

□Windows 8

画面左下を**右クリック**し、「ディスク管理」を開きます。
その後は手順.3にお進みください。

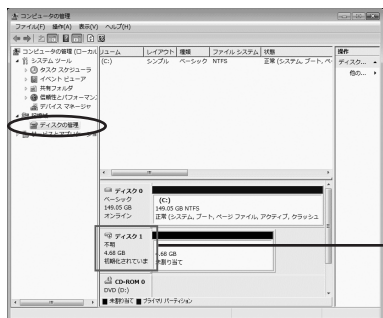
□Windows 7

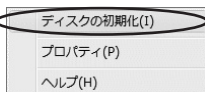
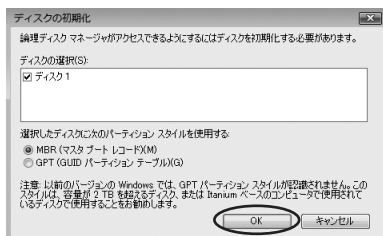
【スタート】→【コントロールパネル】→【表示方法：小さいアイコン※】→【管理ツール】を開きます。
※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

□Windows Vista

【スタート】→【コントロールパネル】→【クラシック表示※】→【管理ツール】を開きます。
※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

2.

【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

※このとき【ユーザーアカウント制限】ウインドウが表示されます。【続行】をクリックしてください。
続行できない場合は、ユーザーに管理者としての権限がありません。
システムの管理者にご相談ください。

3.

【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。
そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。

4.

【ディスクの初期化】ウインドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いないかを確認して【OK】をクリックします。

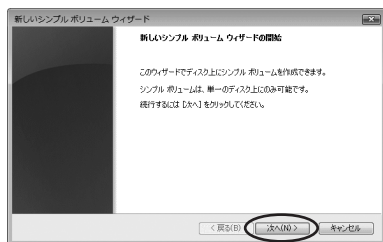
※パーティションスタイルについて
2TB以上の容量を扱う場合はGPT形式をお勧めします。MBR形式の場合、1パーティションサイズの上限が2TBとなってしまいます。
GPT形式は、Windows 2000やWindows XP等では読み書きすることができません。
また、ハードウェアの仕様によって、2TBを超える容量が扱えない場合もございます。
GPT形式であれば2TBを超える容量が扱えるわけではないことに注意してください。

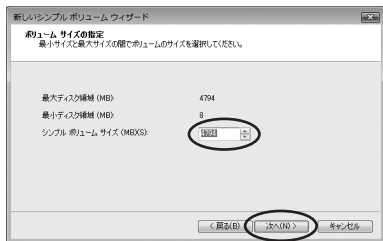
【領域の確保とフォーマット】

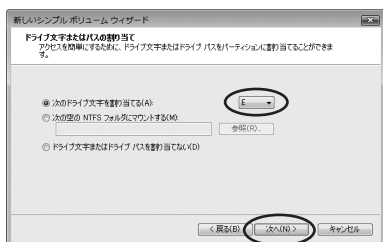
5.

【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。
この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

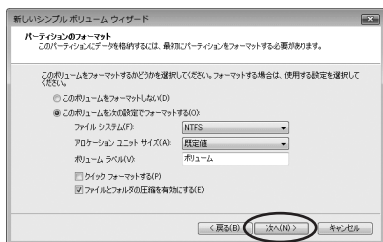
6.

【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。
設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.

【ボリュームサイズの指定】が表示されます。
MB（メガバイト）単位でボリュームサイズを指定します。
ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。
特に指定しなければ最大容量で設定されます。
設定したら【次へ】をクリックします。

8.

【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウインドウが表示されます。
ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。
こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

【領域の確保とフォーマット】

9.

【パーティションのフォーマット】ウィンドウが表示されます。

・**ファイルシステム**
NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。

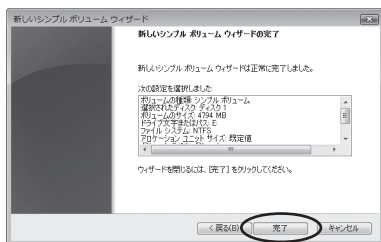
・**アロケーションユニットサイズ**
パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値を選択します。

・**ボリュームラベル**
マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。

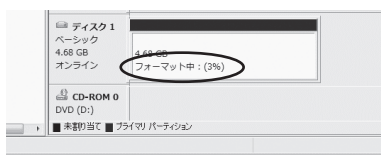
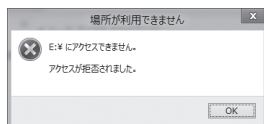
・**クイックフォーマットする**
このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。
通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない替わりに、不良セクタ等の代替も行われません。
お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

・**ファイルとフォルダの圧縮を有効にする**
このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。
通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。
一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

10.

【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウィンドウが表示されます。

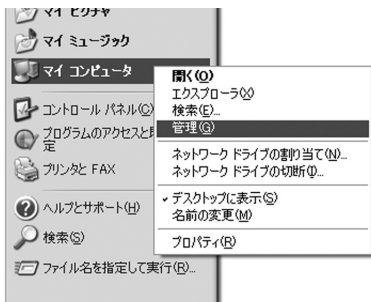
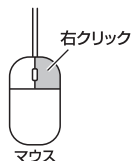
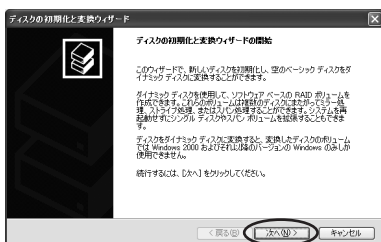
テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。

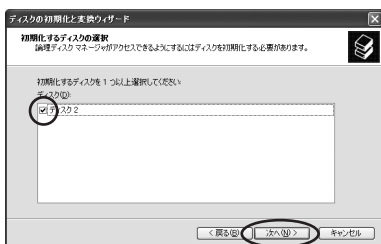
11.

これでフォーマットの作業は完了です。ディスクの管理の容量表示ウィンドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。
フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。

・フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。
・フォーマット中は、コンピュータや本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります。

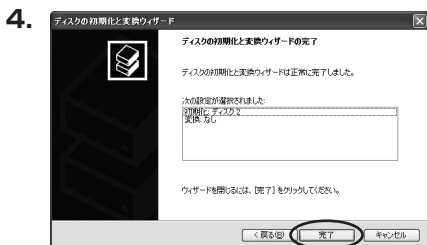
【領域の確保とフォーマット】

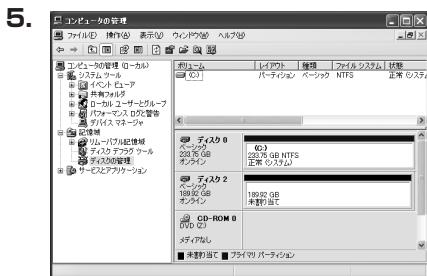
■Windows XPの場合

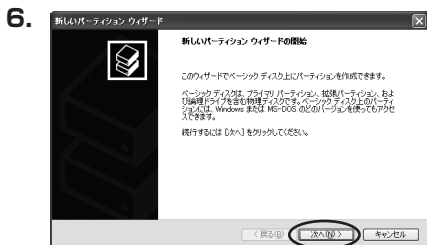
注意：フォーマットにはアドミニストレータ権限を持っているユーザでログインして行ってください。

1.

スタートメニューのマイ コンピュータを「右クリック」で開き「管理」を選択します。
「コンピュータの管理」ウィンドウが開きます。

2.

「コンピュータの管理」ウィンドウの「ツリー」の中から「ディスクの管理」を選択すると、「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が表示されます。
「次へ」をクリックします。

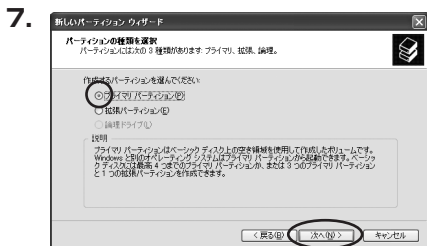
3.

「署名するディスクの選択」ウィンドウが表示されます。
署名するディスクにチェックを入れて「次へ」をクリックします。

4.

「ディスクのアップグレードと署名ウィザード完了」ウィンドウが表示されます。「完了」をクリックしてウィンドウを閉じます。

5.

次にパーティションの作成を行います。「未割り当て」と表示され、斜線になっているディスクがフォーマットされていないディスクですので、「未割り当て」と表示されている部分を「左クリック」で選択し、「右クリック」でメニューを開き、「パーティションの作成(P)..」を選択します。

6.

「パーティション作成ウィザード」が表示されます。
「次へ」をクリックします。

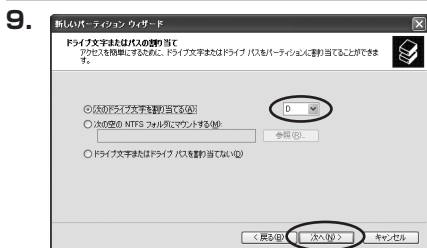
【領域の確保とフォーマット】

7.

「パーティションの種類を選択」ウィンドウが表示されます。
「プライマリパーティション」を選択して「次へ」をクリックします。
※１つのディスクを5つ以上のパーティションに分割する場合は、拡張パーティションを選択します。

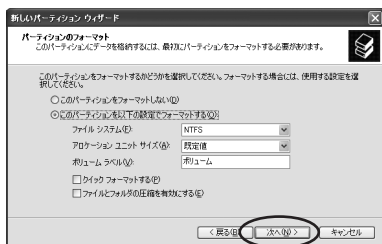
8.

「パーティションサイズの指定」ウィンドウが表示されます。
「次へ」をクリックします。

※既定値は最大容量（1パーティション）ですが、複数のパーティションを作成するには、容量を減らし、「パーティション作成ウィザード」をくり返して行うことで、複数のパーティションを作成することができます。

9.

【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウィンドウが表示されます。
ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。
通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。
こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

10.

「パーティションのフォーマット」ウィンドウが表示されます。
このウィンドウでフォーマット設定をすることができます。

※Windows XPでは32GBを越えるFAT32ボリュームをフォーマットすることができません。

・**使用するファイルシステム**
NTFSとFAT32が選択可能です。

・**アロケーションユニットサイズ**
アロケーションユニットの大きさを設定します。通常は既定値のまま変更する必要はありません。

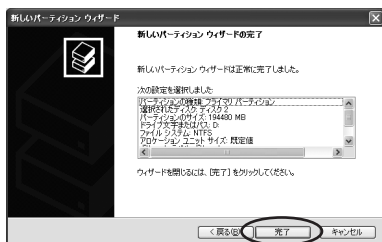
・**ボリュームラベル**
「マイコンピュータ」で表示されるボリューム名です。指定しなければ既定の「ボリューム」というボリュームラベルが設定されます。

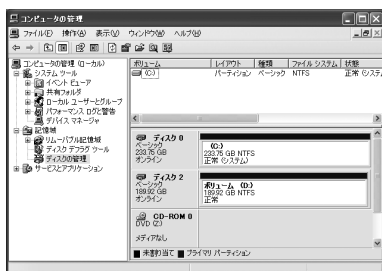
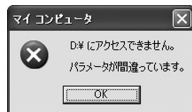
・**クイックフォーマットする**
このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。
通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない替わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

・**ファイルとフォルダの圧縮を有効にする**
Windowsのファイル圧縮機能を使用します。
ファイルを圧縮して格納することにより、実際の容量よりも大きく使用することが可能ですが、仕様的にファイルの読み書き速度の低下をまねくようです。
詳しくはお使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

すべて設定して「次へ」をクリックします。

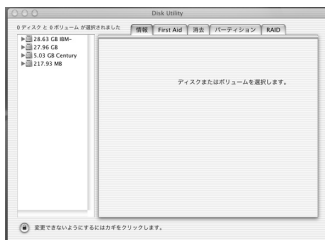
【領域の確保とフォーマット】

11.

「パーティション作成ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。
「完了」をクリックして閉じます。

12.

フォーマットが開始されます。
「ディスクの管理」で表示されるステータスが「フォーマット中」になります。
進行状況が100%になり、ステータスが「正常」になればフォーマット完了です。
使用可能になっていますので、マイコンピュータからディスクアイコンを開いてコピーなどを行ってみてください。

・フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。
・フォーマット中は、コンピュータや本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります。

【Macでの使用方法】

Mac OS XでのフォーマットはOS標準の「Disk Utility」を使用します。
※あらかじめMacフォーマットを行ったHDDはそのまま使用可能です。

1.

「Disk Utility」を起動します。

※「Disk Utility」は、アプリケーション＞Utilityの中にあります。
左側に接続されているフォーマット可能ディスクの一覧が表示されます。
接続されているHDDすべてが表示されますので、選択を間違えないように気をつけてください。

2.

接続されているディスクの情報が表示されます。

3.

上の「パーティション」タブをクリックします。
パーティション設定を変更できます。

・**ボリュームの方式**
作成するボリューム数を選択します。
8つまで分割して作成することが可能です。

・**ボリューム**
メディアの分割状況が表示されます。

・**ボリューム情報**
ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。
「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択すると、パーティションごとに設定を変更することが可能です。

・**名前**
作成するボリューム名を変更できます。変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。

・フォーマット
作成するボリュームのフォーマットを選択します。
「Mac OS標準」「Mac OS拡張」「UNIXファイルシステム」「空き領域」が選択できます。
通常は「Mac OS拡張」を選択してください。

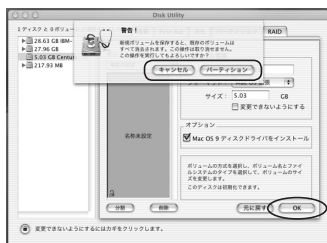
・サイズ
作成するボリュームのサイズを変更できます。

・オプション
「Mac OS 9ディスクドライバをインストール」のチェックをするとMac OS 9で動作するドライバをインストールします。

・分割
選択されているボリュームを同じ容量で分割します。

・削除
選択されているボリュームを削除します。

・元に戻す
直前の変更を元に戻します。

4.

すべて決定したら右下の「OK」をクリックします。
警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、キャンセルする場合は「キャンセル」をクリックします。

5.

パーティションが作成され、デスクトップにマウントされます。

取り外しをする場合は、このアイコンをDockの中のごみ箱にドロップします。

― ご注意 ―

1．本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2．本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3．本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4．運用した結果の影響については、【３.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5．本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。
※This product version is for internal Japanese distribution only.
It comes with drivers and manuals in Japanese.
This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.

【販売・サポート】
株式会社 センチュリー

■サポートセンター
〒277-0872　千葉県柏市十余二翁原240-9
【TEL】04-7142-7533（平日 午前10時～午後５時まで）
【FAX】04-7142-7525
【Web】http://www.century.co.jp
【Mail】support@century.co.jp

～お願い～
修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから発送をお願いいたします。

弊社商品についてのご意見・ご感想をお聞かせください

このたびはセンチュリー商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
今後の商品開発等の参考にさせていただきたいと思いますので、商品についてのご意見・ご感想をお聞かせください。
下記eメールアドレス、またはURLにて受け付けております。どうぞよろしくお願いいたします。

【Mail】call@century.co.jp
【Web】http://www.century.co.jp/support/contact/support.html